

令和7年度 第3回 川西市地域公共交通会議

次第

日時 令和8年3月24日（火）
午後2時00分～4時00分
場所 川西市役所 7階大会議室

1. 開会

2. 議事

(1)川西市公共交通計画の進捗状況について 【報告】(資料1)

(2)地域の移動課題対策支援事業（牧の台地域）(資料2)

①部会の進捗状況報告【報告】

②令和11年度以降の平野山下線・大和団地線の運行方針（案）について【協議】

③牧の台地域実施計画について【協議】

(3)川西市次世代型移動サービス推進会議の廃止及び川西市地域公共交通会議規則の改正について【報告】(資料3)

3. その他

・委員の任期について

・公共交通に関するポスター募集について(資料4)

4. 閉会

令和7年度 第3回 川西市地域公共交通会議 出席者名簿

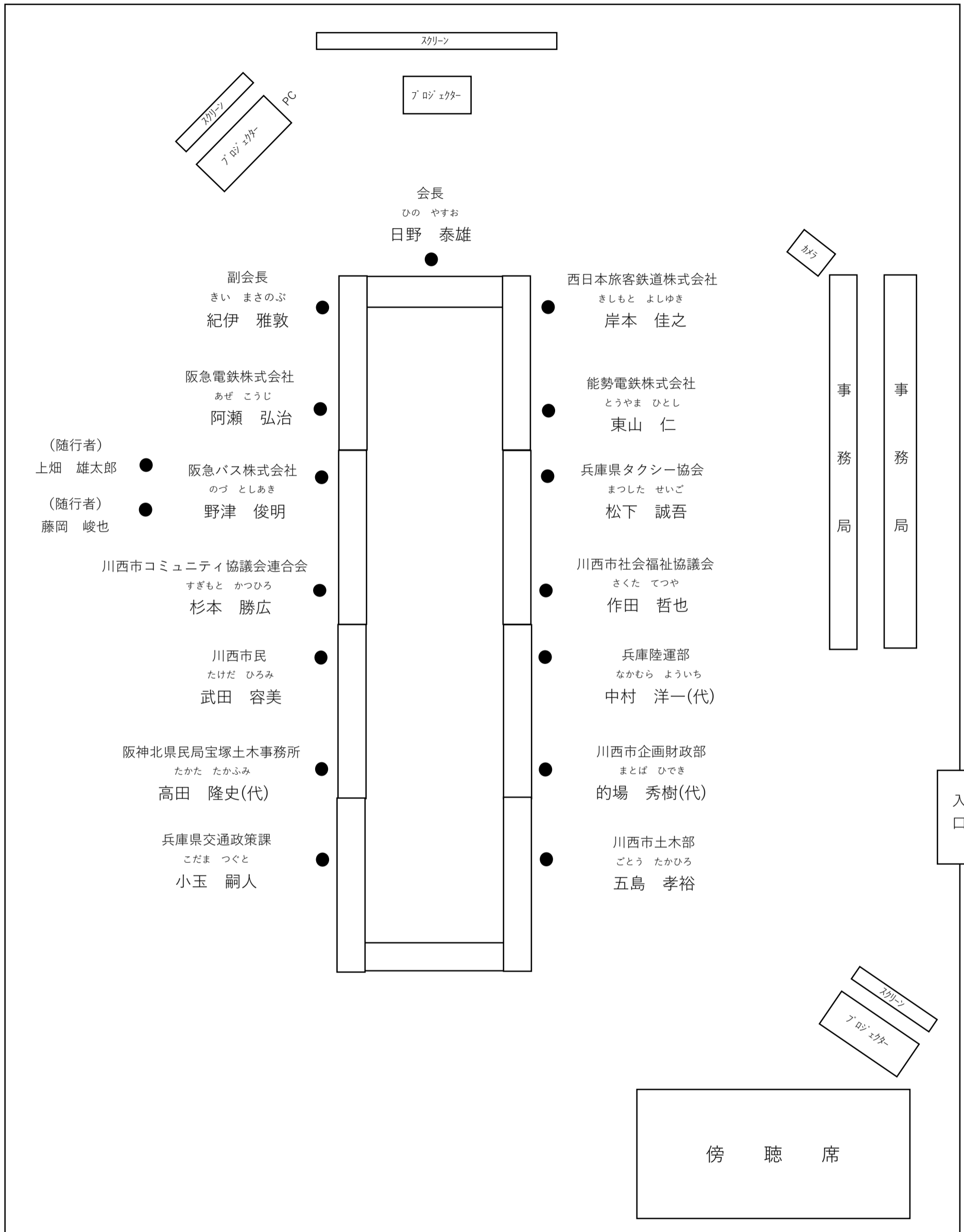
委員


構成団体	所属	役職	構成員		出席者
大阪市立大学		名誉教授	日野 泰雄	ひの やすお	同左
大阪大学大学院	工学研究科 環境エネルギー工学専攻 共生環境デザイン学講座・共生都市計画学領域	教授	紀伊 雅敦	きい まさのぶ	同左
西日本旅客鉄道株式会社	近畿統括本部 兵庫支社	課長	岸本 佳之	きしもと よしゆき	同左
阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 沿線まちづくり推進部	部長	阿瀬 弘治	あぜ こうじ	同左
能勢電鉄株式会社	鉄道事業部	副部長	東山 仁	とうやま ひとし	同左
阪急バス株式会社	自動車事業本部営業企画部(地域公共交通担当) 兼 新モビリティ推進部	部長	野津 俊明	のづ としあき	同左
公益社団法人 兵庫県バス協会		専務理事	新屋敷 昭一	しんやしき しょういち	欠席
一般社団法人 兵庫県タクシー協会 株式会社フクユ		代表取締役	松下 誠吾	まつした せいご	同左
兵庫県交通運輸産業労働組合協議会	阪神地域協議会	副執行委員長	石崎 宏司	いしがき こうじ	欠席
川西市コミュニティ協議会連合会 北陵コミュニティ協議会		会長	杉本 勝広	すぎもと かつひろ	同左
社会福祉法人 川西市社会福祉協議会		常務理事	作田 哲也	さくた てつや	同左
川西市民		-	武田 容美	たけだ ひろみ	同左
国土交通省	神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門	首席運輸企画専門官	木原 健太	きはら けんた	中村 洋一
兵庫県	阪神北県民局 宝塚土木事務所	所長	志茂 大輔	しも だいすけ	高田 隆史
兵庫県川西警察署	交通課	課長	片岡 篤	かたおか あつし	欠席
川西市	企画財政部	部長	阪上 哲生	さかうえ てつお	的場 秀樹
川西市	土木部	部長	五島 孝裕	ごとう たかひろ	同左

オブザーバー

兵庫県	兵庫県土木部 交通政策課	副課長 兼 地域交通班長	小玉 嗣人	こだま つぐと	同左
-----	-----------------	--------------	-------	---------	----

令和7年度 第3回 川西市地域公共交通会議 配席図





川西市公共交通計画の 進捗状況報告について

基本方針に基づく施策の一覧について

【基本方針1】誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

(※赤字は重点施策)

- ① **地域の移動課題対策支援事業** (基本方針2・3にも関連)
- ② **公共交通維持及び利便性向上に向けた事業者連絡会の設置** (基本方針2にも関連)
- ③ 渋滞・違法駐車対策の推進 (基本方針2にも関連)
 - ・ タクシーの利用環境向上に向けた検討 (基本方針3にも関連)
 - ・ ユニバーサルデザインタクシーの導入 (基本方針3にも関連)
 - ・ 隣接自治体との連携推進 (基本方針2にも関連)
- ④ 安全対策の推進

【基本方針2】環境にやさしくまちの賑わい向上につながる公共交通の利用環境の整備

- ⑤ **モビリティ・マネジメント (MM) の充実** (基本方針1にも関連)
- ⑥ 公共交通利用者増に向けた取組の実施
 - ・ EVバスの導入等の推進
 - ・ 福祉施設・コミュニティ等と連携した情報発信

【基本方針3】日常生活を支える地域内交通サービスの構築

- ⑦ **地域住民による訪問型支えあい活動に対する支援**

①地域の移動課題対策支援事業について

【基本方針1】
誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

(基本方針2・3にも関連)

1. 支援地区の現在の取組み

令和6年度支援地区

○緑台・陽明コミュニティ

「福祉的ボランティア輸送」である『お出かけ支援』を運行しており、今後更なる利便性向上を図るため、令和7年12月より右記の運行概要で実証実験として運行。
令和8年3月より本格運行を開始。

○東谷コミュニティ

「福祉的ボランティア輸送」である『乗りっこ』が令和7年10月より運行開始。
令和8年4月からは、運行対象地区を広げ東畦野山手地区・東畦野地区・西畦野地区鳴尾地区・山原地区・緑ヶ丘地区・見野地区も運行する予定。

現在の運行概要

運行主体	運営主体：緑台・陽明コミュニティ協議会 運行主体：多田グリーンハイツ自治会
対象者	・1人で外出するのが困難な介護予防要支援者等 ・生活支援を必要とする高齢者
車両	8人乗りワゴン（車両は自治会がリース）
運転手	ボランティア
料金	1回あたり100円（実費の範囲内 ※ガソリン代・保険料・車両リース代）
利用方法	・バス路線上での乗降は不可・予約不要、定時定路線・片道利用可能 ・指定停留所で乗降

現在の運行概要

運行主体	東谷コミュニティ支えあい交通委員会
利用対象者	東谷コミュニティ地域内に居住している ・介護予防要支援者 ・日常生活で困りごとのある高齢者等 ・外出支援を必要とする住民の方々
車両	5人乗り乗用車（車両は自治会がリース）
運転手	ボランティア
料金	1回あたり200円～500円 ※距離に応じて変動
その他	・生活支援での外出支援を行う。（単なる輸送だけではない）・事前予約制 ・運行ルート ※予約状況に応じて変動あり （基本ルート）黒川⇒一庫⇒下財・山下町⇒笹部⇒山下駅

この両地域の取組は、介護保険課の『訪問型支えあい活動支援事業』の補助金を活用した取組みです。

①地域の移動課題対策支援事業について

【基本方針1】
誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

(基本方針2・3にも関連)

令和7年度支援地区

○牧の台コミュニティ地区

平野山下線・大和団地線の『持続可能な運行』の実現や将来の大和地域の交通について協議を行うために牧の台地域協働交通検討部会連絡会を開催。

バス運行にかかる目標数値や運行ルールなどについて協議を行い、令和8年2月には市長のタウンミーティングを開催し、地域住民との意見交換も行った。

○北陵コミュニティ地区

コミュニティ内の移動課題を明確化するために、今後、学識者などを交え地域での勉強会の開催を検討中。

2.令和8年度の取組み

今後も、各地域ごとの移動課題の解決に向けて地元団体の主体的な取組みを支援していくとともに、引き続き、移動課題の解決に取り組む新たな支援地区を募集していく。

②公共交通維持及び利便性向上に向けた 事業者連絡会の設置について

【基本方針1】
誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

1. 概要

(基本方針2にも関連)

【目的】

各交通事業者が共通して抱える課題について解決策を検討し、解決に向けて協力して対策を講じる。

【構成員】

学識経験者・市内各交通事業者・土木部交通政策課・その他事業者連絡会が特に必要と認める者

2. R7年度の開催状況

回数	日時	主な内容
第1回	令和7年7月9日	<ul style="list-style-type: none">・ 令和6年度の振り返りと令和7年度の課題について <p>≪利用促進≫ イベント無料乗車券、免許返納キャンペーン、教員向けMMなどについて</p> <p>≪渋滞対策≫ 啓発活動や乗越え防止柵の設置などについて</p> <p>≪人材不足≫ 自治体職員のバス運転士兼職、職業体験の受け入れなどについて</p>
第2回	令和7年12月15日	<ul style="list-style-type: none">・ 共通の課題についての意見交換 <p>≪人材不足≫ 合同企業説明会の開催やSNSを活用した人材募集の方法など</p> <p>≪利用促進≫ 二次元コード決済を活用し自治体と連携した利用促進（案）について</p>

3. 令和8年度の取組み

引き続き、課題解決に向けて交通事業者と協力し対策を講じる。

③ 渋滞・違法駐車対策の推進

(基本方針 2 にも関連)

【基本方針 1】

誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

1. 概要

渋滞や違法駐車を削減し、路線バスおよびタクシーの定時性を確保する。

2. R7 年度までの実施状況

年度	実施内容	対策場所
R6	ナッジ看板の設置	川西能勢口駅周辺 (アステ川西前に 2 ヶ所、パルティ川西前に 1 ヶ所)
R7	兵庫県・警察と連携した街頭啓発活動 (月 1 回)	川西能勢口駅周辺
	違法駐車対策実証実験 ※単管バリケードの設置など (10月末～1月中旬)	アステ川西前
	横断防止柵の延伸 (1月)	アステ川西前 (パチンコ店付近)

3. 令和 8 年度の実施について

今後の対策については、引き続き県・川西警察・市で構成する交通安全対策連絡会議で協議を行っていく。

④安全対策の推進

【基本方針1】

誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

1. 概要

鉄道運行を持続可能なものとするため、法面等の整備や踏切対策など、自然災害・交通災害の予防対策を実施。

完成写真 撮影日：2026年2月10日

2. R7年度の実施状況

	豪雨対策
工事内容	法面防護工事 ※落石防護柵（フェンス）の設置
工事箇所	能勢電鉄妙見線 平野駅～一の鳥居駅間
総事業費 (補助金)	総事業費 23,781千円 (国：7,927千円 ※1/3補助) (県：3,963千円 ※1/6補助) (市：3,963千円 ※1/6補助)



3. 令和8年度の取組みについて

引き続き、能勢電鉄妙見線 平野駅～一の鳥居駅間の豪雨対策工事、踏切対策の取組みを進める予定。

⑤モビリティ・マネジメント（MM）の充実

（基本方針 1 にも関連）

【基本方針 2】
環境にやさしくまちの賑わい向上につながる
公共交通の利用環境の整備

1. 概要

【目的】

市民一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を人や社会、環境にやさしいという観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取ることができる意識づくり

2. R7年度のMMの実施状況

①学校MM … 市内小学校向けにモビリティ・マネジメント授業を実施

	メニュー	対象学年	R6実施	(人数)	R7実施	(人数)	実施主体	備考
	児童向け	①バス乗車体験	1・2年生	0	0	0	0	阪急バス・市
※バスの『あいうえおカルタ』		1・2年生	-	-	2	134	※バス乗車体験の代替授業として実施	
②川西市とのせでん		3年生以上	2	129	3	283	能勢電鉄・市	
③バスの乗り方〇×クイズ		1～4年生	2	132	1	73	市	
④交通すごろく		5・6年生	1	66	1	21	松村先生・市	R6年度は教職員研修でも実施 ※参加教員4名
⑤バス学習		5・6年生	0	0	1	21	阪急バス・市	
	合計	-	5	327	8	532	-	-
教員向け	内容	対象者	R6実施	(人数)	R7実施	(人数)	実施主体	備考
	【夏季教育保育職員研修】 小学校教員が『教育現場でのMM授業を実施する』ことを目的としたワークショップを開催。	1・2・3年生 担当教員 (希望者のみ)	-	-	1	20	松村先生 阪急バス 能勢電鉄 川西市	川西市内17校のうち9校の学校の教員と近隣他市の自治体職員が参加
	担当教員による学校でのMM授業回数	1・2・3年生 の児童	-	-	6	373	担当教員	授業実施校には、校外学習で使える無料乗車券をプレゼント
	合計	-	-	-	7	393	-	-

・令和8年度も引き続き、小学校向けMMを実施していく ※【参考資料1】を参照

⑤モビリティ・マネジメント（MM）の充実

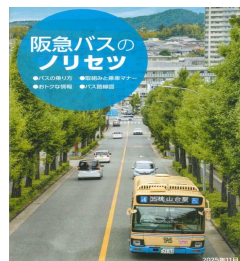
（基本方針1にも関連）

【基本方針2】
環境にやさしくまちの賑わい向上につながる
公共交通の利用環境の整備

③転入者MM

…川西市への転入者に対して、阪急バスのノリセツとリクルートガイドを配布

※令和7年度は、約2,000部配布。



交通事業者各社のMM取組み一覧

実施主体	取組内容	実施時期
阪急バス	①小学校向け副教材「未来クリエイター」の製作・配布 ②「夏バスわくわくキャンペーン」の実施 ③「星のカービィ×阪急電車」ラッピングバスの運行・バス停装飾・1日乗車券の発売 ④阪急バスの乗り方説明パンフレット「ノリセツ」製作・配布 ⑤「モビリティ人材育成事業」の実施（予定）	①R7/7 ②R7/7/19～R7/8/31 ③R7/8/22～R8/3/17(予定) ④R7/11(予定) ⑤実施予定
能勢電鉄	①「のせでんレールウェイフェスティバル2025春」の開催 ②「茜音・藍色彩と過ごすなつやすみ2025 クイズ&スタンプラリー」の開催 ③「風鈴電車《音色彩る》」の運行 ④「星のカービィ×阪急電車」のせでん号の運行 ⑤「星のカービィ×阪急電車」スタンプラリーポイント・フォトスポットの設置・1日乗車券の発売 ⑥QRコードを活用したデジタル乗車券サービスの開始 ⑦「のせでんレールウェイフェスティバル2025秋」 ⑧デジタル駅スタンプアプリ「エキタグ」の導入 ⑨卒業列車“祝電(しゅくでん)”の運行	①R7/4/26 ②R7/7/11～9/1 ③R7/7/20～8/29 ④R7/9/2～R8/3/17(予定) ⑤R7/9/2～11/24 ⑥R7/10/1～ ⑦R7/11/1 ⑧R7/11/1～ ⑨R8/2/20～R8/3/29
阪急電鉄	①「阪急沿線観光あるき」の実施 ②第16回「阪急ええはがきコンテスト」の実施 ③「星のカービィ×阪急電車」ラッピング列車「カービィ号」の運行 ④「星のカービィ×阪急電車」スタンプラリーの開催およびフォトスポットの設置 ⑤「朝日・五私鉄リレーウォーク」「阪急×のせでん合同ハイキング」の実施 ⑥「もみじだより（多田神社・満願寺）」の紹介 ⑦レールウェイフェスティバルin川西能勢口駅・宝塚線運転係ステーションイベント ⑧「阪急×北急×のせでん スカイハイキング」の実施 ⑨「阪急×のせでん合同ハイキング」	①R7/4/1～12/31 ②R7/6/6～8/29 ③R7/8/22～R8/3/17 ④R7/9/2～11/24 ⑤R7/10/22 ⑥R7/11/4～12/7 ⑦R7/11/15 ⑧R7/12/13 ⑨R8/2/21
JR西日本	①KANSAIMaaSでのひょうごアクセス2dayパスの発売 （神戸市交通局、神戸電鉄株式会社、神戸新交通株式会社、神姫バス株式会社、公益社団法人ひょうご観光本部との連携） ②KANSAI MaaSでのJR西日本QR 2 dayパスの発売 ③特急こうのとりサブスクパスの発売 ※2025年春ダイヤ改正より川西池田駅に新たに特急こうのとり停車（朝夕通勤時間帯） ④交通8社が連携した初の乗車券『ONE KANSAI QR乗車券』の発売 ⑤有料着席サービス「うれシート」お得なチケットレス指定席券の発売 ※R7/3/15～宝塚線へ「うれシート」新規導入	①R7/4/11～10/30 ②R7/9/5～R8/3/30 ③R7/12/1～R8/3/1 ④R7/10/17～R8/5/31 ⑤R7/3/15～

⑥公共交通利用者増に向けた取組の実施

【基本方針2】
環境にやさしくまちの賑わい向上につながる
公共交通の利用環境の整備

1. 概要

市内イベントに公共交通で来場された方に対して、アンケートを実施し、回答者に対して無料乗車券を配布。 ※アンケート結果などは【参考資料2】を参照

【目的】

公共交通（能勢電鉄・阪急バス）の利用者増加と公共交通利用に関する市民意識の醸成

2. R7年度の実施状況

・各イベントでの配布枚数と利用実績

源氏まつり			
	配布枚数	利用枚数	利用率
阪急バス	197	150	76.1%
能勢電鉄	256	—	—
川西市交通安全フェア 2025			
	配布枚数	利用枚数	利用率
阪急バス	115	45	39.1%
能勢電鉄	64	—	—
2イベント合計			
	配布枚数	利用枚数	利用率
阪急バス	312	195	62.5%
能勢電鉄	320	—	—

3. 令和8年度取組みについて

令和7年度に引き続き、令和8年度も『清和源氏まつり』と『交通安全フェア2026』で無料乗車券を配布予定。

※R8年無料乗車券ポスター
(源氏まつり)

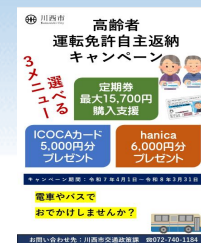
令和8年度 第1回目 配布イベント

「清和源氏まつり」
日程：4月12日（日）

※配布するバス無料乗車券



(参考) 高齢者運転免許自主返納キャンペーン



1. 概要

免許返納時に満70歳以上の川西市民の方を対象に、ICOCA5,000円分かhanica6,000円分の支給、または定期券の購入を支援（上限：15,700円分）し、高齢者の事故防止と公共交通の利用を促進。

2. R7年度の実施状況

(単位：人)

年度	報償内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R6	ICOCA	50	44	47	40	31	44	54	39	45	50	55	50	549
	定期券	2	1	9	5	4	10	5	4	8	5	6	2	61
	計	52	45	56	45	35	54	59	43	53	55	61	52	610
R7	ICOCA	51	59	48	39	26	30	34	35	39	34	34		429
	hanica	25	6	12	11	13	11	14	10	9	2	9		122
	定期券	14	2	7	4	3	4	1	1	8	7	8		59
	計	90	67	67	54	42	45	49	46	56	43	51	-	610

3. 令和8年度の取組みについて

令和7年度に引き続き、令和8年度も同様の取組みを実施。

対象交通	定期券の種類	発着場所
阪急バス	グランドバス70	—
伊丹市営バス	普通定期券	—
阪急電鉄	普通定期券	川西能勢口駅 又は 雲雀丘花屋敷駅
JR西日本	普通定期券	川西池田駅又は北伊丹駅
能勢電鉄	普通定期券	沿線各駅

⑦地域住民による訪問型支えあい活動に対する支援

1. 概要

【基本方針3】

日常生活を支える地域内交通サービスの構築

地域住民による移動支援を含む支えあい活動を行う団体に対して、運営継続と活性化に必要な支援を行う。

川西市訪問型支えあい活動（車両を利用した外出支援）の状況について

車両を利用した外出支援の状況(R7年12月現在) ※黄色…拡充 ピンク…R7年度新規立ち上げ

団体名	地区	方法	形態	支援範囲	現状
緑台・陽明コミュニティ協議会 「おでかけ支援」	緑台	・巡回 ・リース車	外出支援	緑台・陽明コミュニティ協議会範囲	・令和7年12月より、運営主体を、自治会からコミュニティ協議会へ移行し、支援範囲をコミュニティ協議会範囲に拡大 ・多田グリーンハイツセンター(西友)を中心として、向陽台・緑台・水明台・清流台をルート別に巡回する生活支援を伴わない外出支援 ・月曜日から金曜日まで、阪急バス路線から外れたルートで1日3ルート運行 ・利用料100円/回(実費を超えない範囲)
「たのみ隊」 (明峰地区福祉委員会協力)	明峰	・個別 ・自家用車	生活支援	中学校圏域	・生活支援を伴う個別の外出支援(800円/h) ・令和7年10月より、通いの場への生活支援を伴う乗り合いでの外出支援を開始(1往復400円/人・3名まで) ・介護認定が要支援1以上であることが利用の条件(個別相談の場合あり) ・1か月に5回まで利用可能
NPO「じえねじえね」	けやき坂	・個別 ・自家用車	生活支援	中学校圏域	・生活支援を伴う個別の外出支援(主に通院・美容院等) ※代表者の都合で休止中。令和8年2月末に、代表者・活動者・生活支援コーディネーターで再開に向けた協議を行う予定
けやき坂地区福祉委員会 「たすけ愛けやき」	けやき坂	・個別 ・自家用車	生活支援	中学校圏域	・令和7年7月より、生活支援を伴う個別の外出支援を開始(700円/h) ・令和7年10月より、通いの場への生活支援を伴う乗り合いでの外出支援を開始(200円/人) ・令和7年10月より、公共交通バス停への生活支援を伴う個別の外出支援を開始(100円/回)
東谷コミュニティ協議会 「乗りっこ」	東谷	・個別 (乗り合い) ・リース車	生活支援	中学校圏域	・令和7年10月より、生活支援を伴うエリア毎に個別宅を回り乗り合う外出支援を開始 ・対象エリアは、山下自治会・笹部自治会・下財自治会・一庫自治会・黒川自治会 ・利用料は、黒川地区500円/回、笹部地区200円/回など、エリアにより異なる ※令和8年4月より畦野地区などエリア拡大を検討しており、ルート・利用料等協議中
多田地区福祉委員会 「ボランティア愛」	多田	・個別 ・自家用車	生活支援	中学校圏域	・令和7年12月より、生活支援を伴う個別の外出支援を開始(800円/h)




地域の移動課題対策支援事業

(牧の台地域)

これまでの経緯について

▶ 前回会議（R7年度第2回地域公共交通会議）までの経緯

- **令和7年5月15日** 【令和7年度第1回 地域公共交通会議（書面）】を開催
⇒牧の台コミュニティを支援地区に決定
- **令和7年6月3日** 【令和7年度第1回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催
⇒会長の選任・部会設置の目的や進め方、目標数値などについて協議
- **令和7年7月15日** 【令和7年度第2回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催
⇒バス運行にかかる経費や目標数値、ワークショップなどについて協議
- **令和7年9月5日** 【ワークショップの開催】 ※ワークショップの様子
⇒『大和バスの利用促進について』というトークテーマでワークショップを開催。バス利用者を維持・増加させるため、地域住民同士で意見交換を実施。

- **令和7年9月17日** 【令和7年度第3回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催
⇒ワークショップでの意見のとりまとめや、利用促進に向けた実施計画について協議
- **令和7年10月8日** 【令和7年度第2回 地域公共交通会議】を開催
⇒バス運行にかかる目標数値の指標を『輸送人員』から『実利用者数』へ変更することについて協議し承認を得る。

これまでの経緯について

▶本会議（R7年度第3回地域公共交通会議）までの経緯

●令和7年12月19日

⇒令和7年12月議会で、平野山下線・大和団地線の前期運行期間（令和8年4月～令和11年3月）の3年間の運行にかかる補助金の補正予算案（債務負担行為）を上程し、議会の承認を得る。

●令和8年1月15日 【令和7年度第4回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

⇒12月議会で議会の承認を得た上で、令和11年度以降のバス運行方針を決定するためのバス運行方針（案）や、地域主体で実施する『実施計画』について協議をおこなった。

【主な意見】

(1) 令和11年度のバス運行方針（案）について

⇒部会は、バスの運行を継続するにはどんな取組みが必要かという事を議論するもの。

牧の台地域はこれまでの経緯もあり、運行ルールを地域公共交通会議の協議事項とする事は吝かではない。

⇒目標数値の達成が中心的な主な議論ではなく、将来の移動サービスについて、若い世代のためにも今から議論することが重要である。

(2) 牧の台コミュニティ協議会の実施計画書について

⇒事業計画については、「何を実施する」⇒それによって「何がどうなる」⇒「評価」（計画の再検討あるいは効果的対策の実施の検討）となる。

⇒実施計画には、「将来の移動サービスの検討」や「若年層を対象にしたワークショップの開催」を加える必要があるのではないか。本来は、目的があって、その目的のためにどのような取組をするのか、その結果(効果)を踏まえて次のステップは何かというという流れになる。

これまでの経緯について

●令和8年2月23日【市長のタウンミーティング】を開催

※タウンミーティングのチラシ ※当日の様子

⇒令和11年4月以降の平野山下線・大和団地線の運行方針を決める『運行方針（案）』について市長と地域住民の方々が意見交換を行った。45名の方が参加され、『持続可能な大和バスを運行するために』様々な意見交換を実施した。



●令和8年3月5日【令和7年度第5回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

⇒タウンミーティング開催の報告や、令和11年4月以降の運行に対する『運行方針（案）』と利用促進に向けた『実施計画（案）』の内容について協議し承認を得る。

協議事項 令和11年度以降の平野山下線・大和団地線の運行方針（案）について

運行方針（案）の概要について

令和8年度～令和10年度は毎年度（目標）実利用者数を設定し、目標の達成状況を見て令和11年4月以降の運行方針を決定。

- ・ **2年連続目標達成**すれば、令和11年度以降も現在のバス運行を維持する。
- ・ **2年連続目標未達成**であれば、令和11年度以降のバス運行を見直す。

※ 2年間で目標達成など判断ができない場合

2年連続目標達成、または未達成になるまでバス運行を1年延長する。

- ・ **延長期限は、総合計画・川西市公共交通計画期間であるR13年度までとする。**

※（目標）実利用者数と補助金のイメージ図



目標達成のパターン

$$\begin{array}{l} \text{実利用者数 達成} \\ \text{(目標運送収入達成)} \end{array} + \begin{array}{l} \text{(赤字)} \\ \text{1,500万以内} \\ \text{(経費の増加なし)} \end{array} = \text{○} \text{(達成)}$$

$$\begin{array}{l} \text{実利用者数 達成} \\ \text{(目標運送収入達成)} \end{array} + \begin{array}{l} \text{(赤字)} \\ \text{1,500万超} \\ \text{(経費の増加)} \end{array} = \text{○} \text{(達成)}$$

$$\begin{array}{l} \text{実利用者数 未達成} \\ \text{(目標運送収入未達成)} \end{array} + \begin{array}{l} \text{(赤字)} \\ \text{1,500万以内} \\ \text{(経費の減少)} \end{array} = \text{○} \text{(達成)}$$

目標未達成のパターン

$$\begin{array}{l} \text{実利用者数 未達成} \\ \text{(目標運送収入未達成)} \end{array} + \begin{array}{l} \text{(赤字)} \\ \text{1,500万超} \\ \text{(経費の増加)} \end{array}$$

（目標）実利用者数の設定方法等について検討を行う。

事業実施計画書（案）	
1. 事業名	大和地域の移動サービス利用促進・活性化事業
2. 事業実施予定期間	令和8年4月1日 から 令和9年3月31日
3. 事業の具体的な計画内容	・無料乗車券等の企画乗車券の発行 ・大和循環バス無料Dayの実施 ・ノベルティ作成やイベントの企画・実施 ・啓発物の配布 ・学識者による勉強会や講演会・ワークショップ開催
4. 期待する事業実施効果	若年層を含む大和地域住民全体の積極的なバス利用と大和地域の『将来の移動サービス』についての意識を醸成し、大和地域を活性化させる。
5. 効果検証の方法	・乗降車数のデータを活用し、利用者の推移を検証 ・アンケートを実施し、地域住民の意識変化を検証

1. 牧の台コミュニティ協議会の実施計画（案）の概要

【事業名】大和循環バス利用促進・移動サービス活性化事業

【目的】

≪1≫ 大和循環バスの利用者を増やし、『持続可能な運行』を実現すること。

≪2≫ 将来の大和地域の交通について若年層も含め大和地域住民全体の意識を醸成させること。

【取組み内容（案）】

- ・ 無料乗車券などの企画乗車券の発行や、バス無料Dayを実施するなど積極的なバス利用を促進。
- ・ バスの利用促進を促すノベルティ（横断幕やのぼりなど）の作成や、イベント開催の企画・実施。
- ・ バスの利用促進を促すチラシや啓発物を地域住民へ配布。
- ・ 学識者による勉強会や講演会・ワークショップなどを開催し、若年層へ積極的に参加を呼び掛ける。

【期待する効果】

- ・ 若年層を含む大和地域住民全体の積極的なバス利用と、大和地域の『将来の移動サービス』についての意識の醸成を図る。

【効果検証の方法】

- ・ 乗降車数のデータなどを活用しバス利用者数が増加しているかどうか検証する。
- ・ アンケートを実施し、地域住民の意識変化を調査・分析し効果を検証する。

2. 今後のすすめ方

⇒承認いただいた実施計画の内容に基づき、地域住民が主体となり計画内容を実施。

実施後、効果（結果）を集計し課題の抽出を行い、次年度に向けた改善策の検討などを地交会議で協議・検討を行う。

※イメージ図

4 効果検証・改善策検討

実施結果を報告し、抽出した課題を踏まえて、地交会議で協議。



3 結果の集計

乗降者数やアンケート結果などを集計し、結果をまとめ、課題を抽出する。



(地交会議で協議)

効果検証
改善策検討

実施計画
作成

1 実施計画作成

地域が主体となり目的達成のための実施計画を作成し、計画内容について地交会議で協議。



計画の承認

2 計画の実行

無料乗車券の配布や、勉強会の開催など計画に沿った内容について実施する。



(地域主体で実施)

※川西市から上限500千円 支援

川西市地域公共交通会議規則をここに公布する。

令和8年4月1日

川西市長 越田謙治郎

規則第 号

川西市地域公共交通会議規則

(趣旨)

第1条 この規則は、川西市付属機関に関する条例（昭和52年川西市条例第3号）第3条の規定に基づき、川西市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 交通会議は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事項
- (2) 自家用有償旅客運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通計画の策定及び変更に関する事項
- (4) 交通計画に位置付けられた事業の実施及び調整に関する事項
- (5) 次世代型移動サービスの推進に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 交通会議は、委員25人以内で組織する。

- 2 特別の事項を調査審議する必要があるときは、交通会議に臨時委員を置くことができる。
- 3 臨時委員は、特別の事項の調査審議に関して、会長が必要であると認める場合は、会議に出席するものとする。
- 4 委員及び臨時委員は、次に掲げる者から市長が委嘱し、又は任命する。
 - (1) 学識経験者
 - (2) 公共交通事業者
 - (3) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
 - (4) 自家用有償旅客運送者

- (5) 市民又は利用者の代表
 - (6) 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部の職員
 - (7) 兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所の職員
 - (8) 兵庫県川西警察署の職員
 - (9) 川西市の職員
 - (10) 前各号に掲げる者のほか、市長が交通会議の運営上必要と認める者
- 5 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 6 委員は、再任されることができる。
 - 7 臨時委員は、当該臨時委員に係る特別の事項の調査審議が終了したときは、解職されるものとする。
 - 8 委員及び臨時委員は、兼務することができないものとする。

(会長等)

第4条 交通会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、交通会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 交通会議の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 交通会議は、委員及び第3条第3項の規定により出席を認められた臨時委員（以下「委員等」という。）の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員等は、事故その他のやむを得ない理由により交通会議に出席できないときは、あらかじめ会長の承認を得て、代理人を出席させることができる。
- 4 交通会議の議事は、出席委員等の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 議長は、必要と認めたときは、会議に委員等以外の者を出席させて意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

6 交通会議は、公開とする。ただし、議長が必要があると認めるときは、非公開とすることができる。

(ウェブ会議)

第6条 前条第2項の規定にかかわらず、会長が必要と認めるときは、ウェブ会議システム（インターネット等を通じて、委員等の中で相互に映像及び音声の送受信等を行うシステムをいう。以下同じ。）を利用して交通会議の会議を開催することができる。

2 前項に定めるもののほか、交通会議の委員等は、会長の承認を得て、ウェブ会議システムを利用して交通会議の会議に参加することができる。この場合において、当該委員等は、ウェブ会議システムの利用による参加をもって交通会議の会議に出席したものとみなす。

3 ウェブ会議システムの利用において、映像のみならず音声も含め送受信が完全にできなくなった場合には、当該ウェブ会議システムを利用する委員等は、音声の送受信ができなくなった時刻から退席したものとみなす。

4 第4条第4項の規定は、前項の規定により会長が退席したものとみなされた場合について準用する。

5 前条第6項の規定は、第1項の規定により開催される会議（以下この条において「ウェブ会議」という。）について準用する。この場合において、ウェブ会議を公開とするときは、会長が指定した場所においてウェブ会議を傍聴させるものとする。

6 委員等は、前項の規定において準用する前条第6項ただし書の規定により非公開とされたウェブ会議に参加するとき又は第2項の規定により参加する会議が非公開とされているときは、当該委員等以外の者に視聴させないよう必要な措置を講ずるものとする。

(書面による決議)

第7条 会長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前条の規定にかかわらず、書面により委員等の意見を徴し、又は賛否を問い、その結果をもって会議の決議に代えることができる。

- (1) 会議において事前に委員等から書面による決議の了承を受けているとき。
- (2) 緊急の決議を要し、かつ、会議の招集又は成立が困難なとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、会長が軽微な事案と認めるとき。

- 2 書面による決議は、委員等の過半数からの書面による回答をもって成立するものとする。
- 3 書面による決議は、前項の規定による書面により回答した委員等の過半数をもって決し、賛否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 会長は、書面による決議を行った場合は、その結果を書面により速やかに委員等に報告するものとする。

(部会)

第8条 会長は、必要があると認めるときは、交通会議に部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員及び臨時委員のうちから、会長が指名する。
- 4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会における審議の状況及び結果を交通会議に報告する。
- 5 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員及び臨時委員のうちから、部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。
- 6 前3条の規定は、部会について準用する。

(庶務)

第9条 交通会議の庶務は、土木部交通政策課において処理する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、交通会議が定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。

(招集の特例)

- 2 この規則の施行の日以後及び任期満了後最初に開かれる交通会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

(ウェブ会議の特例)

- 3 前項の規定により招集した交通会議の会議については、第6条の規定を準用する。この場合において、同条中「会長」とあるのは、「市長」と読み替えるものとする。

(川西市地域公共交通会議規則の廃止)

4 川西市地域公共交通会議規則（平成20年川西市規則第33号）は廃止する。

(川西市次世代型移動サービス推進会議規則の廃止)

5 川西市次世代型移動サービス推進会議規則（令和元年川西市規則第10号）は廃止する。

公共交通に関するポスター募集

(川西市 交通政策課)

公共交通特集記事掲載までの流れ



実施内容の確定

(6月以降にポスター募集の広報開始)

市内を運行する各交通事業者さまに『川西市民へ情報発信したい事』について、具体的なポスターのテーマを決定してもらう。

- ポスターテーマ (例)
- ・車移動をしている人へ向けて
電車・バスで移動してみたいと思えるようなポスター
 - ・公共交通が地域になくてはならない乗り物だと思えるようなポスター

ポスター募集

(募集期間：8月～9月末までを想定)

6月から市の広報誌やSNSなどを使ってポスター募集の広報を行う。川西市民限定でポスターを募集。
※募集期間は約2ヶ月間

ポスターの選考・確定

※地交会議で決定 (結果発表)
10月末・11月初旬頃の開催を想定

集まったポスターの中から、入賞作品を選出。選出方法は、地交会議開催の2～3週間前に委員メンバーで多数決で決定することを想定。

- 【補足】
- ・12月頃に、公共交通の特集記事の取材などをする予定です。

2月広報誌に掲載

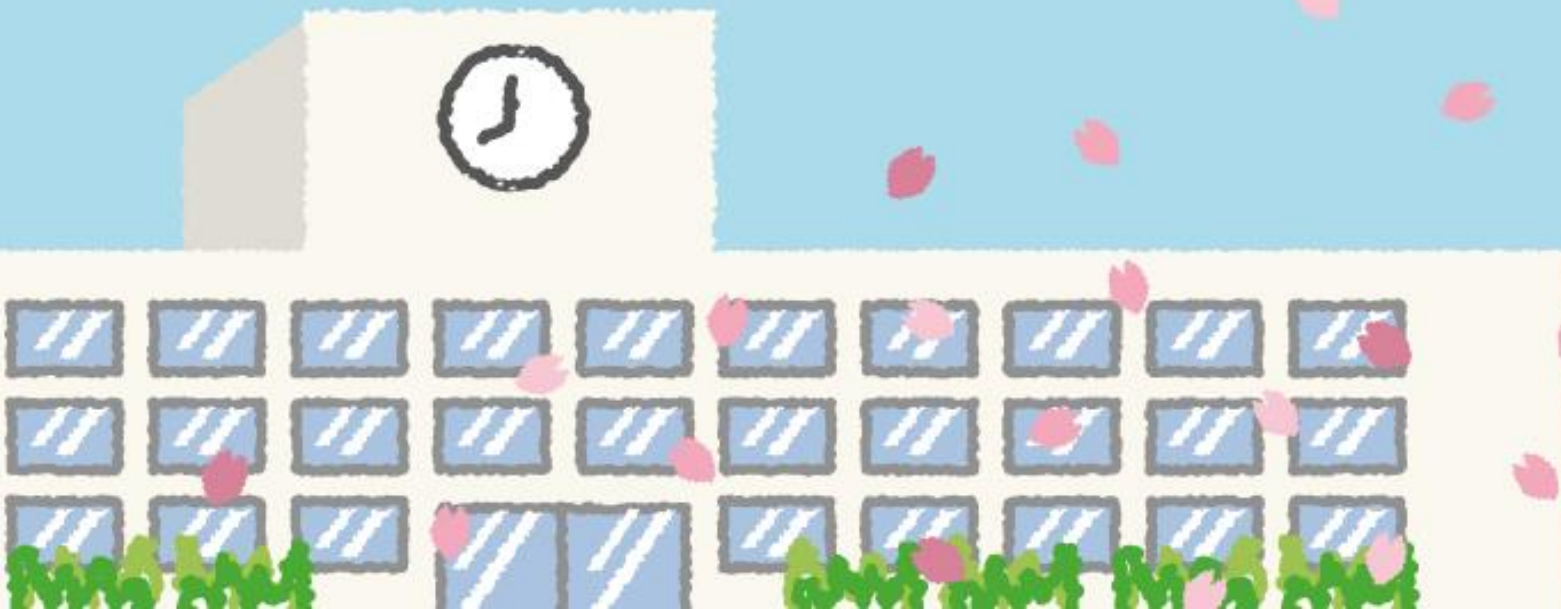
入賞作品を広報誌の表紙として掲載

まちを支える
公共交通

令和8年度
小学生向け

公共交通

授業のご案内



公共交通授業とは・・・？



交通政策課では、学識者や交通事業者と協力し、公共交通授業という名の『モビリティ・マネジメント[※]授業』を実施しております。児童の皆さまには、公共交通の大切さやマナー・乗り方など、遊びをとおして楽しく学んでもらう授業です。是非、お申込みください！

※ モビリティ・マネジメントとは

「市民一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を、人や社会・環境にやさしいという観点から改善していけるような意識を醸成していくこと」

授業一覧

令和8年度は、各学年に対応した **6** つの公共交通授業を実施しています

1・2年生におすすめ

3年生以上におすすめ

5・6年生におすすめ

01

バスの『あいうえおカルタ』

03

バス乗車体験

2校限定

05

バス学習

02

バスの乗り方〇×クイズ

04

川西市とのせでん

3校限定

06

交通すごろく

受講特典

阪急バス無料乗車券をプレゼント！！

授業を受けた児童の皆様へ予算の限り、川西市域で利用できる児童用の阪急バス無料乗車券をプレゼントします！（先着順）

※無料乗車券の有効期間は、

令和8年4月1日～令和9年2月28日まで となります。

03 04 バス乗車体験と川西市とのせでんは対象外になります。ご注意ください！



補足

授業内容について、『高学年におすすめの授業を低学年向けに実施してほしい』などのご要望があれば、交通政策課までご相談ください。



01 バスの『あいうえおカルタ』 ~1・2年生におすすめ~

バスの乗り方やマナーなどを題材にした『あいうえおカルタ』を使って、みんなでたのしく学ぶ授業です。

所要時間

45分(1コマ)

関係する授業

生活科

生活の授業で求められる「公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする資質・能力」を育成します。



02 バスの乗り方〇×クイズ ~1・2年生におすすめ~

バスの乗り方(乗車~降車まで)について学んでいただいた後、実際に学んでもらった内容を踏まえて、〇×クイズを行い、楽しく体を動かしながらバスについて学ぶ授業です。

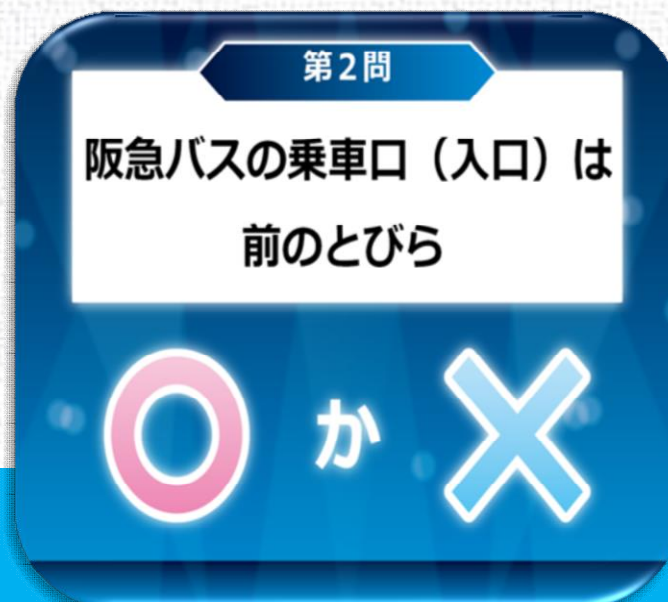
所要時間

45分(1コマ)

関係する授業

生活科

生活の授業で求められる「公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとする資質・能力」を育成します。



03 バス乗車体験

～3年生以上におすすめ～

2校限定

上限校数以上の応募があった場合
抽選させていただきます！

阪急バスの伊丹営業所または、猪名川営業所で、実際に運行している路線バスを使いながら、バスの利用方法やバスの運転席から見た死角などを学ぶことが出来る授業です。

【開催日】A日程：5月15日(金) (猪名川営業所)

B日程：10月8日(木) (伊丹営業所)

A日程：【申込期限】4月17日(金)17時まで！！

B日程：【申込期限】8月7日(金)17時まで！！

所要時間

約90分程度(45分×2コマ)

関係する授業

社会『わたしたちの川西』・総合学習など

社会の授業で求められる「地域の様子の移り変わりを理解し、交通を守るためにどのような行動をすればいいのか地域社会の一員としての自覚」する能力を育成します。

往復の交通費は、

交通政策課が負担します！



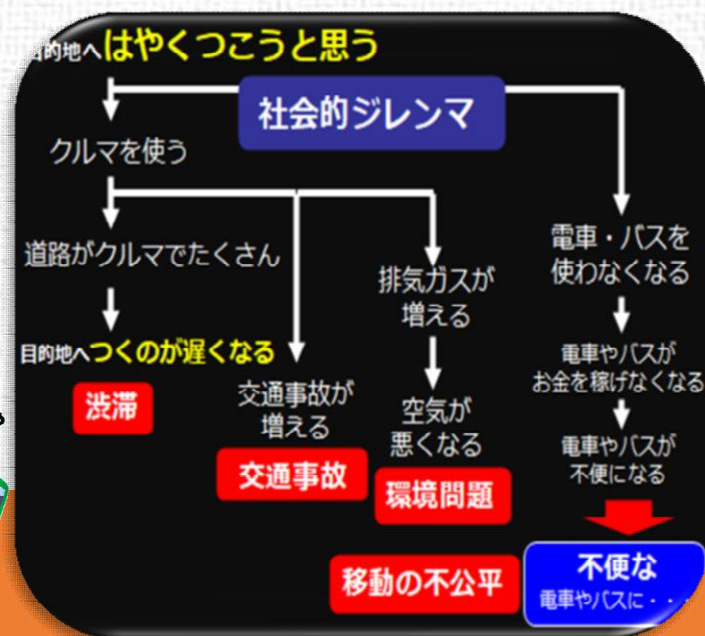
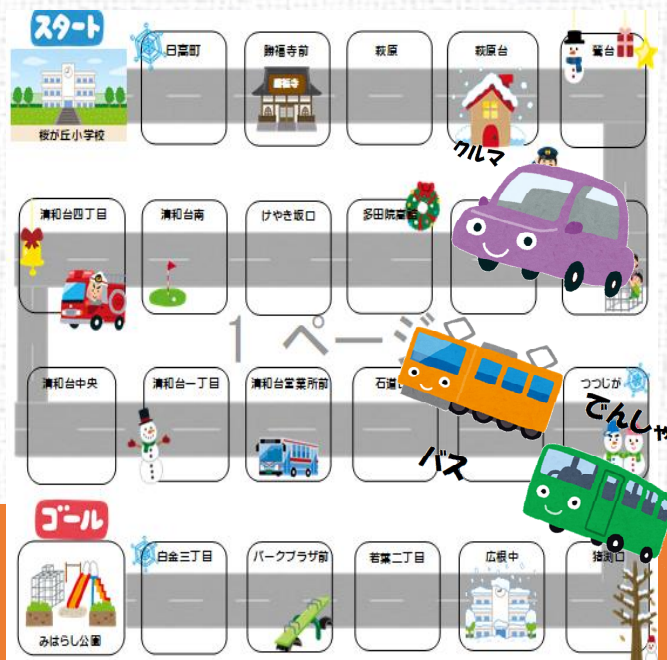
05 交通すごろく ~5・6年生におすすめ~

電車やバスなどによる人や物の移動の仕組み等を通じて、環境問題への思考力や人のつながりの大切さ、地域や人にやさしい行動、そして「まちづくりの大切さ」に気づき、学びます。

所要時間 約90分程度(45分×2コマ)

関係する授業 社会科・総合学習など

総合学習、社会の授業で求められる「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力や公害から国土の環境を守ることの大切さを理解する能力など」を養います。



06 バス学習 ~5・6年生におすすめ~

なぜバスの利用者が減っているのか、なぜバスが必要なのか、バスを守るためにはどうしたらいいのかなどを学びます。

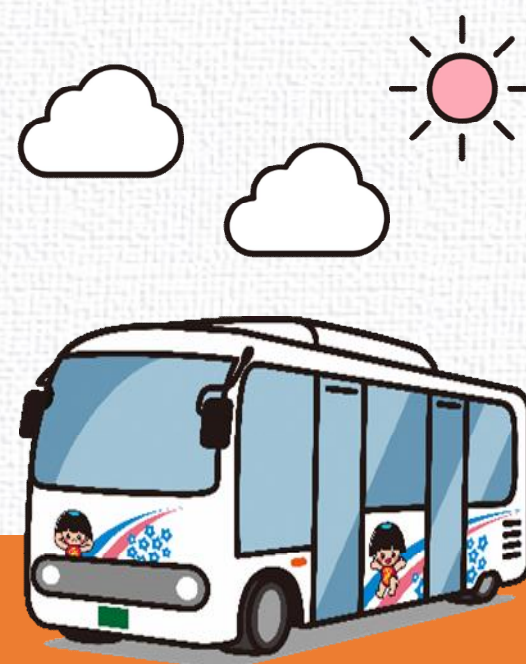
所要時間

45分(1コマ)

関係する授業

社会科・総合学習など

総合学習、社会の授業で求められる「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力や公害から国土の環境を守ることの大切さを理解する能力など」を養います。



公共交通授業の

お申込みはこちらから



！ 授業申込時の注意点 ！

- ・ 授業実施の2カ月前を目途にお申込みください。
また、交通事業者の都合によりお引き受けできないこともあります。
- ・ 公共交通授業の中には、校外学習である『川西市とのせでん・バス乗車体験』の授業があり、現地集合・現地解散になります。

～申込みからの流れ～

1

授業の申し込み

&

【事前】アンケートの実施(児童のみ)

申込から授業実施日までに、(事前)アンケートを児童の皆さまに回答していただきますようお願いいたします。

2

公共交通学習授業 日程確定

授業の実施日について、交通事業者や学識者と日程調整を行います。日程確定後連絡いたします。

3

公共交通学習授業 実施

アンケートの実施(教員・保護者)

授業実施後は、教員のみなさま・児童の保護者さまのみアンケート回答にご協力ください。

4

【事後】アンケートの実施(児童のみ)

授業実施後約1～2か月後に、公共交通に対する意識変化などのアンケート回答にご協力ください。

【問合せ先】 川西市役所 土木部 交通政策課

(5階 11番窓口)



kawa0175@city.kawanishi.lg.jp



072-740-1180

担当：出村（でむら）・岡崎（おかざき）



アンケートへのご協力をお願い



公共交通授業を児童にとって楽しく、より効果的なものにするために、児童・教員・保護者のみなさまにアンケートをお願いしております。ご負担をおかけしますが、ご協力をおねがいいたします。

令和7年度 市内イベントでの無料乗車券配布について

施策の目的 ⇒ 川西市内を運行する公共交通（電車・バス）の利用者の増加

無料乗車券を配布することで、公共交通の利用頻度が少ない又は利用したことがない方に公共交通の利用機会を提供し、『公共交通は便利で使いやすい』と体感してもらい、今後の移動手段の一つとして公共交通を選択・利用してもらう。

実施内容

広報活動

無料乗車券を配布（帰り分のみ）することについて広報活動を実施し、イベントへ公共交通での来場を促す。

無料乗車券の配布

来場者へ無料乗車券を配布
アンケートへ回答
※対象は中学生以上※

アンケート集計

アンケート結果の集計を行い、効果検証を行う。

配布イベントについて

清和源氏まつり

令和7年4月6日（日）開催
場所：キセラ川西せせらぎ公園
配布時間：9時45分～15時00分



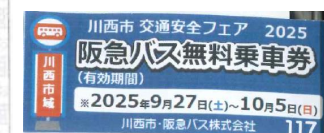
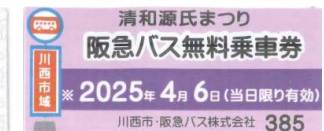
交通安全フェア2025

令和7年9月27日（土）開催
場所：オアシスタウンキセラ
配布時間：10時00分～13時00分



～券面金額と利用区間～

阪急バス300円（300円区間）
能勢電鉄280円（能勢電鉄全区間）



1 無料乗車券の配布枚数と利用率

源氏まつり			
	配布枚数	利用枚数	利用率
阪急バス	197	150	76.1%
能勢電鉄	256	—	—
川西市交通安全フェア 2025			
	配布枚数	利用枚数	利用率
阪急バス	115	45	39.1%
能勢電鉄	64	—	—
2イベント合計			
	配布枚数	利用枚数	利用率
阪急バス	312	195	62.5%
能勢電鉄	320	—	—

昨年度は、3つのイベントで無料乗車券を配布
（阪急バス：284枚 能勢電鉄：280枚）

今年度は2つのイベントで配布したが、前年配布
実績を上回る結果となった。

利用率については、前年度3イベント平均55%であったが、
今年度は62.5%と向上した。

2 アンケート回答者の属性

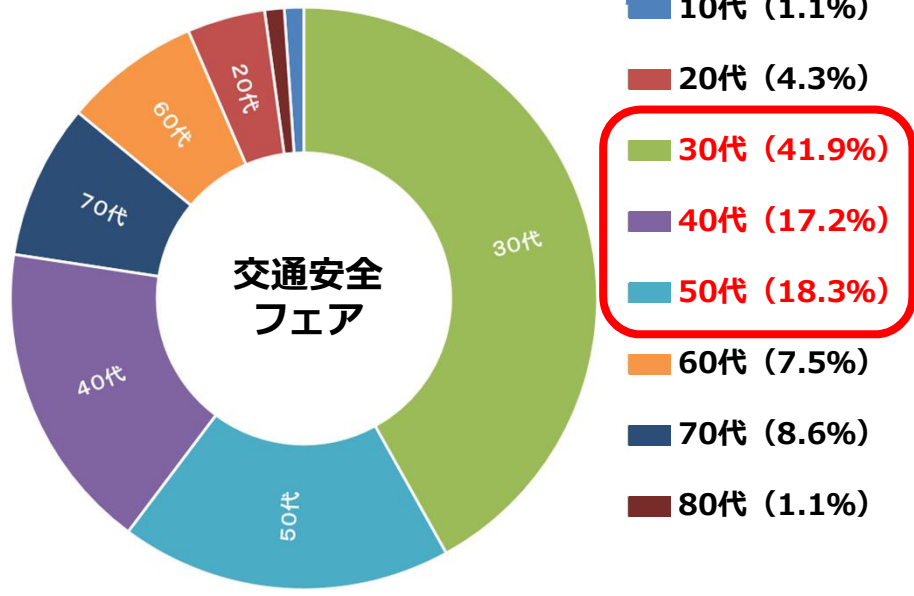
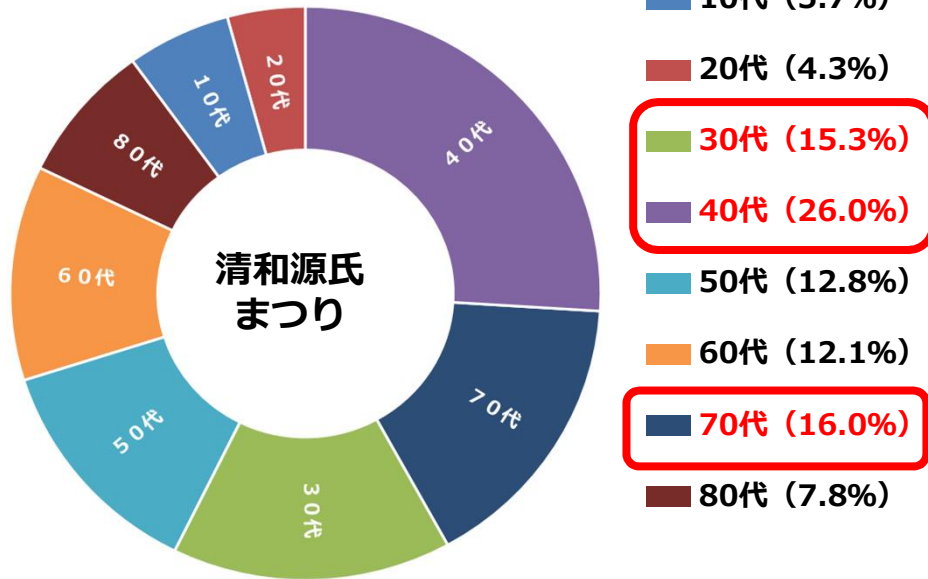
・市内参加者割合（約8割）

源氏まつり			
	市内	市外	合計
回答者	227 80.8%	54 19.2%	281
川西市交通安全フェア 2025			
	市内	市外	合計
回答者	76 81.7%	17 18.3%	93
2イベント合計			
	市内	市外	合計
回答者	303 81.0%	71 19.0%	374

・来場手段

源氏まつり			
	電車	バス	その他（車など）
回答者	181 59.3%	124 40.7%	
川西市交通安全フェア 2025			
	電車	バス	その他（車など）
回答者	13 13.5%	14 14.6%	69 71.9%
2イベント合計			
	電車	バス	その他（車など）
回答者	194 58.4%	138 41.6%	

・年齢層



主に、30代～40代の家族連れの参加者が多かった。

③ アンケート結果について

・広報活動（無料乗車券の事前周知）

(Q1.無料乗車券配布を何で知りましたか?)

源氏まつり				
広報誌	HP	SNS	チラシ・ポスター	当日知った
31.8%	9.1%	7.1%	20.5%	31.5%
川西市交通安全フェア 2025				
広報誌	HP	SNS	チラシ・ポスター	当日知った
17.2%	3.0%	8.1%	15.2%	56.6%
2イベント平均				
広報誌	HP	SNS	チラシ・ポスター	当日知った
24.5%	6.1%	7.6%	17.8%	44.0%

無料乗車券の配布を当日知った人は44%それ以外の人は、
広告などを見て知ってくれていた。

(Q2.イベントに来場した理由)

源氏まつり			
無料乗車券の 配布がある	知人に 誘われた	通りがかり 気になった	イベントが 楽しそうだった
20.2%	12.4%	5.5%	61.8%
川西市交通安全フェア 2025			
無料乗車券の 配布がある	知人に 誘われた	通りがかり 気になった	イベントが 楽しそうだった
25.6%	4.3%	28.2%	41.9%
2イベント平均			
無料乗車券の 配布がある	知人に 誘われた	通りがかり 気になった	イベントが 楽しそうだった
22.9%	8.4%	16.8%	51.9%

『無料乗車券配布があるから』イベントに来場してくれた人は22.9%
前年度は17%であったため、改善出来ている。

・電車への意識調査（利用頻度・利便性など）

（Q3.電車の利用頻度）

源氏まつり				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
60.8%	28.2%	7.7%	2.8%	0.6%
川西市交通安全フェア 2025				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
45.7%	32.1%	8.6%	9.9%	3.7%
2イベント平均				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
53.2%	30.1%	8.2%	6.3%	2.1%

1週間に1回以上利用する人の割合は、**53.2%**。
それ以外の方（利用頻度が少ない・利用しない）は46.8%

毎週電車を利用しない人の理由

- ・子連れでは、車の方が楽
- ・通勤で使わない
- ・運賃が高い
- ・でかける頻度が少ない
- ・駅が遠い
- ・ベビーカーで乗りづらい
- ・自宅周辺で用事がすむ
- ・遠出する時にしか使わない

（Q4.電車の利便性）

源氏まつり			
とても便利	便利	少し不便	不便
58.6%	37.6%	3.9%	0.0%
川西市交通安全フェア 2025			
とても便利	便利	少し不便	不便
61.5%	23.1%	7.7%	7.7%
2イベント平均			
とても便利	便利	少し不便	不便
60.1%	30.3%	5.8%	3.8%

少し不便が5.8%で不便が3.8%であり、
残りの90.4%の人は、便利であると回答した。
利便性については、満足度が高い。

（Q5.電車を今後も利用しようとおもうか。）

源氏まつり			
とても思う	思う	あまり思わない	思わない
70.2%	29.3%	0.6%	0.0%
川西市交通安全フェア 2025			
とても思う	思う	あまり思わない	思わない
76.9%	15.4%	7.7%	0.0%
2イベント平均			
とても思う	思う	あまり思わない	思わない
73.5%	22.3%	4.1%	0.0%

電車の需要度が低い理由

- ・車の方が便利

電車を今後も利用しようと思う人は、95.8%であり**電車の需要度は高い**

（Q6.電車への意見・要望）

【意見】

- ・電車が綺麗でいつも快適で感謝しています。
- ・乗り心地がいい

【要望】

- ・土日の回数券を復活してほしい。
- ・終電をもっと遅くしてほしい。
- ・便数を維持してほしい。
- ・ベビーカースペースが欲しい。
- ・ベビーカーを乗りやすくしてほしい。

・バスへの意識調査（利用頻度・利便性など）

（Q6 .バスの利用頻度）

源氏まつり				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
53.2%	25.0%	10.5%	8.1%	3.2%
川西市交通安全フェア 2025				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
22.0%	19.5%	17.1%	25.6%	15.9%
2イベント平均				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
37.6%	22.3%	13.8%	16.8%	9.5%

1週間に1回以上利用する人の割合は、37.6%。
それ以外の方（利用頻度が少ない・利用しない）は**62.4%**

毎週バスを利用しない人の理由

- ・子連れでは、車の方が楽
- ・通勤で使わない
- ・子供連れだと大変
- ・運行本数が少ない
- ・時間が前後する
- ・ベビーカーで乗りづらい
- ・運賃がたかい
- ・子供が乗りたい時だけ利用する

（Q7 .バスの利便性）

源氏まつり			
とても便利	便利	少し不便	不便
47.6%	38.7%	12.9%	0.8%
川西市交通安全フェア 2025			
とても便利	便利	少し不便	不便
71.4%	21.4%	7.1%	0.0%
2イベント平均			
とても便利	便利	少し不便	不便
59.5%	30.1%	10.0%	0.4%

少し不便が10%で不便が0.4%であり、
残りの89.6%の人は、便利であると回答した。
利便性については、**満足度が高い。**

（Q8 .バスを今後も利用しようとおもうか。）

源氏まつり			
とても思う	思う	あまり思わない	思わない
56.5%	38.7%	4.8%	0.0%
川西市交通安全フェア 2025			
とても思う	思う	あまり思わない	思わない
71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
2イベント平均			
とても思う	思う	あまり思わない	思わない
63.9%	33.6%	2.4%	0.0%

バスを今後も利用しようと思う人は、97.5%であり**バスの需要度は高い**

バスの需要度が低い理由

- ・車の方が便利
- ・本数が少ない
- ・移動が遅い

（Q9 .バスへの意見・要望）

【意見】

- ・いつも利用していて、とても便利
- ・コラボラッピングバスを見るのがいつも楽しみ

【要望】

- ・深夜バスの見直し
- ・定期券が高い（メリットが少ない）
- ・時間通りに来てほしい。
- ・便数を維持してほしい。
- ・ベビーカーを乗りやすくしてほしい。

4 効果検証について（公共交通への移動転換）

効果検証①

公共交通の利用頻度が少ない人・利用したことがない人へ、無料乗車券の配布を事前周知しイベントへ誘致できているか？（公共交通への移動転換のきっかけを提供出来ているか）

（電車の利用頻度別）来場者理由が無料乗車券である人数

源氏まつり				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
110 60.8%	51 28.2%	14 7.7%	5 2.8%	1 0.6%
17 15.5%	14 27.5%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%
川西市交通安全フェア 2025				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
37 45.7%	26 32.1%	7 8.6%	8 9.9%	3 3.7%
9 24.3%	2 7.7%	4 57.1%	5 62.5%	0 0.0%
2イベント平均				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
147 53.2%	77 30.1%	21 8.2%	13 6.3%	4 2.1%
26 17.7%	16 20.8%	7 33.3%	5 38.5%	0 0.0%

『毎週電車を利用する人』以外で、
無料乗車券があるから来場者してくれた人は28名。

（バスの利用頻度別）来場者理由が無料乗車券である人数

源氏まつり				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
66 53.2%	31 25.0%	13 10.5%	10 8.1%	4 3.2%
19 28.8%	6 19.4%	6 46.2%	2 20.0%	1 25.0%
川西市交通安全フェア 2025				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
18 22.0%	16 19.5%	14 17.1%	21 25.6%	13 15.9%
11 61.1%	0 0.0%	7 50.0%	6 28.6%	0 0.0%
2イベント平均				
1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
84 37.6%	47 22.3%	27 13.8%	31 16.8%	17 9.5%
30 35.7%	6 12.8%	13 48.1%	8 25.8%	1 5.9%

『毎週バスを利用する人』以外で、
無料乗車券があるから来場者してくれた人は28名。

効果検証② (公共交通の利用 ※阪急バスのみ)

電車・バスの利用頻度が少ない人・利用したことがない人が、無料乗車券を利用してくれたか？

(電車の利用頻度別)

源氏まつり					
利用頻度	1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
回答数	110	51	14	5	1
配布枚数	100	47	14	4	1
割合	90.9%	92.2%	100.0%	80.0%	100.0%
川西市交通安全フェア 2025					
利用頻度	1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
回答数	37	26	7	8	3
配布枚数	22	13	3	1	1
割合	59.5%	50.0%	42.9%	12.5%	33.3%
2イベント平均					
利用頻度	1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
回答数	147	77	21	13	4
配布枚数	122	60	17	5	2
割合	83.0%	77.9%	81.0%	38.5%	50.0%

2イベント合計で、84名もの電車の利用頻度が少ない方(黄色部分)へ、無料乗車券を配布することができ一定の果はあった。

※利用したかどうかは不明

(バスの利用頻度別)

源氏まつり					
利用頻度	1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
回答数	66	31	13	10	4
利用数	37	17	9	6	3
割合	56.1%	54.8%	69.2%	60.0%	75.0%
川西市交通安全フェア 2025					
利用頻度	1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
回答数	18	16	14	21	13
利用数	9	6	1	5	3
割合	50.0%	37.5%	7.1%	23.8%	23.1%
2イベント平均					
利用頻度	1週間に1回以上	1ヶ月に1~2回程度	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	乗らない
回答数	84	47	27	31	17
利用数	46	23	10	11	6
割合	54.8%	48.9%	37.0%	35.5%	35.3%

2イベント合計で、50名ものバスの利用頻度が少ない方(黄色部分)が利用してくれ、一定の効果があった。

(別記様式第1号)

作成日 令和8年3月5日
作成者 牧の台コミュニティ協議会
会長 植木 信嘉

事業実施計画書(案)

1. 事業名	大和地域の移動サービス利用促進・活性化事業
2. 事業実施予定期間	令和8年4月1日 から 令和9年3月31日
3. 事業の具体的な計画内容	<ul style="list-style-type: none">・無料乗車等の企画乗車券の発行・大和循環バス無料 Day の実施・ノベルティ作成やイベントの企画・実施・啓発物の配布・学識者による勉強会や講演会・ワークショップ開催
4. 期待する事業実施効果	若年層を含む大和地域住民全体の積極的なバス利用と大和地域の『将来の移動サービス』についての意識を醸成し、大和地域を活性化させる。
5. 効果検証の方法	<ul style="list-style-type: none">・乗降者数のデータを活用し、利用者の推移を検証・アンケートを実施し、地域住民の意識変化を検証